

お忙しい中、アンケートにご協力頂きありがとうございました。貴重なご意見、また温かい言葉を頂きました。職員一同、丁寧な対応にこころがけていきたいと思ひます。  
今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。

#### 保育時間に関して

- (意見) 有料でも 7:10 (7:30) からの保育希望  
延長料金を納めても 18:30 までの保育希望
- (回答) 全国病児保育協会会長大川医師は「健常児ではなく病児という事を考慮し、お預かりする時間は、長くとも 18 時まで」と仰っています。  
病児への負担の視点で現保育時間 (8:00~18:00) は妥当であると考えます。  
また、全国的に 8:30~17:30 という時間帯の病児保育室が多い中、前後 30 分ずつは広い枠の設定となっております。ご理解のほどよろしくお願ひ致します。

#### 保育料に関して

- (意見) 小学生の利用時の 3000 円の負担について、30 分か 1 時間ごとの追加料金などの料金設定。  
無料化、もしくは引き下げを希望
- (回答) 各市町村での設定となっております。市町村のほうに要望としてお伝えします。

#### 予約に関して

- (意見) 翌日の引き続きの予約に関して、18:00 のお迎え時の場合の予約が厳しいので良い方法を考えて欲しい。(例えば、利用している保育時の電話予約でも OK にして欲しい。特にインフルエンザや水痘、アデノウイルス感染症などの利用で、必ず継続しての利用が必要な場合)
- (回答) 一人でも多くの方が、ご利用頂ける様に、基本的に 1 日目のご利用の方を優先的にお取りしています。勤務時間は様々で、全ての方のご希望に添うことは困難です。申し訳ありません。  
ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひ致します。
- (意見) 予約受付時間、キャンセル時間をもう少し長くして欲しい
- (回答) 当日の保育準備の都合で、現行の時間 (6:45~7:15) になっています。定員数などに余裕がある場合は時間が過ぎてからでも、受け入れをしております。例えば、保育所からお迎えの連絡があった当日の場合などでも、お受けできることもありますので、ご相談ください。
- (意見) 予約状況をネットで確認 (病名、キャンセル待ち状況)、ネット予約で 24 時間、メールでの対応を希望
- (回答) 病児の症状を正確に把握することが必要であり、病名、症状によって部屋割りが変わります。単純に人数だけでは予約することができません。また、キャンセル・予約の変動は絶えずありますので、随時、ネットでの対応はできません。  
ネット環境の有無で不平等になること等をふまえ、現状通りで行ないたいと思ひます。

(意見) 月曜日の予約を金曜日にしたい

(回答) お休みを挟んで、回復される場合があります。原則的には、休み明け前日にお問い合わせ致します。保護者の方の翌日の勤務の調整もあると思いますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

#### 持ち物に関して

(意見) 案内に必要ながあればミルクをと書いてあり、1歳になりたてという事もあり、まだミルクを飲んでいた為、持参したのですが「こういう申し出は受けられません、ミルクを冷やすのも大変なので」と言われました。なぜ持ち物の案内に、できないのに書いてあるのでしょうか？粉ミルクを飲ませる対応ができないのなら案内に書く必要はないのでは？

(回答) 誤解を招く対応がありました事を、深くお詫び申し上げます。今までもミルクを飲まれる子どもさんの対応はして参りました。今後も対応していきたいと思っておりますので、必要時はミルクをお持ちください。

#### 定員数に関して

(意見) 定員増加の希望

(回答) 現段階では部屋数などの環境設備の面で子どもさんの安全を守る為にも、定員数10名が妥当だと考えています。今回、駒ヶ根市に続き、伊那市にも病児保育室が開所し、上伊那広域として考えますと定員数の拡大につながっています。いちごハウスでは現状維持としたいと思っております。よろしくお願い致します。

#### その他

(意見) 持ち物をファイルのどこかに貼ってほしい

(回答) 保育登録の際に受け取られた「ご案内」用紙をファイルに貼って、ご利用頂けたらと思います。よろしくお願い致します。(紛失された方は、お申し出ください。)

(意見) 小学生でも利用しやすくして欲しい(遊ぶものなど)

(回答) 小学生でも時間を過ごして頂ける様な、オセロやトランプやカルタ、スティッキー、まちがいがしカード、児童書等など、ご用意しています。保育士や同室のこどもさん同士の関わりを大切に考えていますので、ゲーム機などは配置していません。

(意見) 手足口病を感染してしまいました。部屋をもう一つ希望。予約時に手足口病と一緒にとなると言ってほしかった。

(回答) 医師の診断のもと部屋割りを行ない、感染対応には十分配慮しておりますが、「ご案内」にもあります様に、病児保育室利用に於いて完全に感染を防げるものではありません。特に手足口病に関しては、潜伏期間などの問題を含めて小児科学会でも「感染を防ぐことは困難である。」と言われております。またできるだけ利用のしやすさを考え、予約は当日の朝まで受け入れをしていますので、予約時に必ずお預かりする方の病名をお伝えできるとはかぎりません。ご理解のほどよろしくお願い致します。

(意見) 保育士の紹介のチラシ

(回答) 準備が整いましたら、廊下に掲示致します。

(意見) 食事代の無料化

(回答) 食事については、ご希望者に有料で提供させていただいております。市町村の補助の対象となっておりません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(意見) 着替えがない

(回答) 対象年齢が1歳から12歳と幅広い年齢層であること、また下痢や嘔吐など感染的な問題もあり、年齢に合わせてこちらで用意することができません。症状によって複数回の着替えが必要となる場合もあり、2組以上の着替えを皆さんにお願いしています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

(意見) 年齢ごとの保育希望

(回答) 健常児と違い病気の種類によって部屋割りをしています。年齢ごとの部屋割りはできません。

(意見) 土日を挟むともう一度医師の連絡票をとらなければならないのでしょうか？

(回答) 土日を挟んだからと言って、必ずしも医師連絡票の提出は必要ありません。症状が大きく変わった場合などは、病名が変わっている事も考えられますので、その様な場合は受診して頂き医師の確認を頂きたいと思います。その際、病名が変わっている様でしたら発行して頂きご提出をお願い致します。休み明けの予約時には、前の週でご利用頂きました時の症状とご連絡頂きました時点での症状の変化についてお尋ねします。その際にもご相談ください。

(意見) 症状が変わるごとに診断書が必要となり不便

(回答) 同じ部屋で何人もの病児さんをお預かりすることがあります。症状が変わって病名が変わる子どもさんの中には、隔離が必要であると判断されることもあり、部屋割りを変更することもありますので、ご理解をお願い致します。

## ありがとうございました！

